



秋ですねー♪♪今年も恒例となっております秋の社内行事を開催しました！！
メーカー様、社員とその家族など今回は総勢28人の参加となりました。
今回の開催場所は福島県猪苗代町にあります「リステル猪苗代」です。



福島支店→本社の順に参加者全員をバスに乗せて「いざ！リステル猪苗代へ！！」お酒を飲みながらくつろいで景色を堪能しているとバスの中から猪苗代湖と磐梯山が見えてきました♪バスの中ではすでにお酒も入り宴会気分です♪



ということであつという間に目的地到着です！！まずは猪苗代ハーブ園で様々な植物に囲まれながら心と体をリフレッシュ！！入園してすぐ、なぜかローマ観光で有名な「真実の口」が！？

嘘は絶対につかないはずの鈴木課長が「真実の口」に手を入れこの表情(*~)vさすがっ



足湯に入ろうとしたらなぜか上着を脱がされた私・・・
「え！？マジで？押さないでくださいよ！絶対押さないでくださいよ！！・・・
う！うわっ！！！」この後は御想像にお任せします・・・。
※注意：みなさん足湯はマナーを守って正しく入りましょう。

社長と今江係長。社長は花嫁を送り出す父親に变身。
一通りハーブ園を満喫したところで記念撮影！！



バーベキューハウスに行く途中に子供心をくすぐるアスレチックがたくさんありました。あれ？子供にしては大きいような・・・。



バーベキューハウスでの昼食風景♪う〜ん、美味しそう♪



昼食後は自由時間で、ほとんどの方が温泉に行きました。
最後に喜古課長の勇士（ターザン）をご覧ください！！

(記事：佐藤稔)



【あとがき】ハーブ園の植物、美しかったです。その美しさの土台となっている地球ですが、100年、200年・・・1000年後はどんな環境になっているのでしょうか。昨今、異常気象が目立ってきました。めまぐるしい世の中ですが、生物・植物を守っているのは地球であることを忘れてはいけません。自然を守る意識を高め、地球に優しく、自身の周りの環境から美しく、大切にしていきたいものです。...[作成・編集：i k u e]

かがやき

～感謝して励みましょう～

アンバランス

佐藤康則

「大便が水洗トイレの水の中で浮く人はいますか？手を上げてください。」

月曜日、朝礼で聞いてみました。手を上げた人はゼロ。そのかわりみんなニコニコして顔がぱつと明るくなりました。小さい頃からこういう話はみんな大好きですね。うちの社員さんは特に好きみたいです。男女問わずニヤニヤして嬉しそうでした(笑)

健康な人の大便は、バナナの色と形をした便が一〜二本程度肛門からすりと出て、肛門を拭かなくても良いくらいのお便です。そして水洗トイレの水にちょうど半分くらい浮きます。

旬は肉類(たんぱく質)の摂取量が増えていくに従ってその腐敗臭

がきつくなります。また草食動物の便は匂いがよく、コアラの便はユーカリのいい匂いがするようです。

バランスが悪いと必ず不調のサインがあります。そしてその不調のサインに早い段階で気付くことができれば、生活習慣を改善して病気にいたることもなく、またバランスをとることが出来ます。

僕たちの住むこの三次元の世界は相対的な世界です。善があつて悪があり、朝があつて夜があります。人間の体も、体温や血圧が上がり過ぎず、下がりにすぎずうまく調節できて生きています。

心もバランスがとれていればこそ毎日楽しく過ごすことができます。

さて、このストレス社会で生きていくのは本当に大変です。一日はめまぐるしく過ぎていきます。そして、働いて家族を養っていくというお父さん、

お母さんは本当に大変だと思えます。バランスを崩さないで生活していらつしやる方のほうが、少ないような気がしてなりません。

そのために、ついついお酒を飲みすぎてしまつたり、タバコをやめられなかつたり、精神的に落ち込みやすくなつてしまつたり、食事の量や睡眠時間をコントロールすることができなくなつてきます。

だから、せめて家族や近しい人や、そして会社のスタッフ同士では、バランスを崩してもがらばつてるんだと認めてあげて、「お酒をやめろ」「タバコをやめろ」「はやく起きて」なんて言わないで、

「いつも家族のためにがんばってくれて本当にありがとう。今日は健康でいて欲しいからお酒は一本までにしませうか。」

そんな優しい言葉をかけてあげることができればいいですね。



読書コーナー

「ありがとう大臣とポストの神様」

阿川龍翔著・中川貴与美イラストレーション(文屋)

【紹介文より】最高級イタリア車のトップセールスマンが初公開！月700枚、通算15万枚の「ありがとう」ハガキを書いて見つけた「商品以外のものを売る」極意を、物語で紹介。すべてに「ありがとう」や！仕事で困っている事がある人、人生について悩んでいる人、自分は幸せやないと感じている人、・・・この本があなたの究極のバイブルになるで！

スタッフ感想

「ありがとう」の反対は「当たり前」
自分がいま生きていることや、毎日無事に生活していることに「当たり前」じゃなく「ありがとう」の感謝をして行きたいと改めて思う本でした。：鈴木貴博

どんな事でもありがたいと思えました。普段何気なく生活をしていると有難さを忘れて「当たり前」になってしまっています。当たり前前を「幸せ」に置き換えると目の前の景色が変わって見える事に気が付きました。そして「ありがとう」を口癖にしたいです。：今江淳子

ありがとうのチャンスって、考えてる以上にあるんですね！気づけなかった「当たり前前」を「ありがとう」に変えていきます！：國分進一

「当たり前前」を「ありがとう」にかえ、幸せな毎日に日々感謝して過ごしていきたいと思いました！：鈴木いづみ

この本を読んで、ハガキを書いて相手に感謝の気持ちを伝える事でその人の心も届けることができるという事を知りました。生活の中で起こるすべての出来事に感謝し、素直な気持ちで「ありがとう」と言えるような人間になつていきたいと思えます。：佐藤稔

イラストが柔らかく感謝はこうやって伝えるんだよ、ものごとくに敏感にならないといけないよって優しく書いてあります。この本に入っていた「美日常のたより」の中で文屋・木下代表の仕事場での写真がスゴク素敵でした。：石川一也

日常に起こりうるすべての事を「当たり前前」と思わず、何かをしてもらったときは「すみません」ではなく「ありがとう」と「ありがとうございます」を使つていきたいと思いました。：小林文喜

ちょっと小耳にはさんだので調べてみました。
 <2015年春に開業する北陸新幹線の名称が「かがやき」に決定した。一般から募集した中から、「かがやき」(公募第5位/応募数4123件)は、「輝く光がスピード感と明るく伸びていく未来をイメージさせるため」>
 弊社が発行している社内報も「かがやき」の名称です。皆でアイデアを出し合い、全員投票で決めたことを思い出しました。う～ん、なつかし～～～思わず第1、2、3・・・号発刊を振り返りました。今回で第51号、もうそんなに発行していたんだ～と、改めて実感し、今後も皆で個性的でいろいろな記事を書き、懐かしみたいと思います。



小林文喜



先日、ネットを覗いているとウシの「げっぷ」を燃料に、アルゼンチンで新技術開発『アルゼンチンの研究チームが、温室効果ガス排出の削減につながるかもしれない新技術を開発した。ウシの「げっぷ」を燃料に変換するという画期的な方法だ。』とあり、2050年を目標に研究中とのこと。世界で新エネルギーの開発や研究をされているのを良く聞きますが、こんな角度で研究する人もいるのですね～と感じました。僕も日常に隠された新エネルギーを探してみようかな？



石川一也



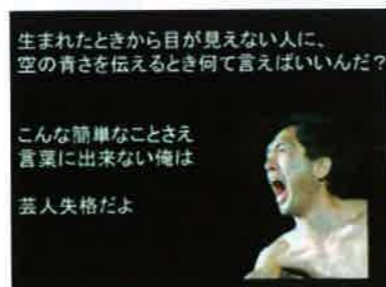
闇に隠れつつ、長年名言ハンターとして地下活動をしておりました。

好きな言葉は「時を得た沈黙は英知であり、如何なる雄弁よりもまさる」By プルタルコス、「人は城、人は石垣、人は堀。情けは味方、仇は敵なり」By 信玄などのガチガチ系と、リリーフランキーさんなどのリアル系名言なんか白飯と同じくらい大好きです。さて、出会いはスローモーションと申しますが！昔、明菜が言っていた「軽い眩暈」を覚えるような良いフレーズに出会ったので紹介したいと思います(>v*)♪



國分進一

「生まれたときから目が見えない人に、空の青さを伝えるとき何て言えばいいんだ？こんな簡単なことさえ言葉に出来ない俺は芸人失格だよ」
 江頭2：50



私の〇〇～つづやき編～



毎年恒例の「さつま芋掘り！」今年も実家でやってきました。子供がオムツをしている頃からの恒例行事で10年以上続けています(*^_^*)
 前日はもちろん、秋の収穫！初搾りのお手伝いでした。全身、筋肉痛の体に気合いを入れて畑に行きましたが、ほとんど子供達が掘ってくれたので残念ながら私の出番はありませんでした。本気で掘る娘たちに『ママは芋を集めて』と指示をされながら一輪車に運ぶ作業をしました。50本あった芋の苗も1時間ほどで掘り終わり、良い収穫ができました(^_^)♪
 しかし中学生になっても芋掘りを楽しみにしている娘があと何年一緒に行ってくれるのか考えてしまいますが、来年も皆で楽しく芋掘りが出来ればなあって思っています♪



今江淳子



2年くらい前から新聞や本を読むとピントがあわずイライラするようになり、ここ1年は老眼鏡を会社と家に置くようになりました。最近特に酷くなってきて、夕方になると車の運転をしていると、もの凄く目が疲れるようになり眉間にシワをよせる回数が非常に多くなりました。ここ2、3日はWebで「老眼回復法」なるサイトを見つけて訓練していますが・・・PCを見ていることで益々目が悪くなる様な気がしている今日この頃です。



鈴木貴博

今年も地元のお祭り「松川提灯祭り」に行ってきました。もうすぐ2歳になる娘を連れて行ったところ、終始テンション上がりっぱなしで「ヤーレヤーレ！！ワッショイ！ワッショイ！」と踊りまくっていました(^_^)♪
 その後も一週間はお祭りの興奮冷め止まず、毎日家の中で踊ってしまう祭り好きな娘でした。



佐藤 稔



石川一也 (鷹の爪)

10月の台風上陸後は非常に寒くなり、秋っぽさが感じられるようになりました。鷹の爪もいよいよ収穫期になりました。ゾクゾク実が付き始めとてもイイ感じです。1本だけ完全に完成品ができました。とても辛そう～～。



鈴木貴博 (ベビーリーフ栽培セット)

植えてから3日で芽が出ました。カイワレ大根の様に育っていたのですが写真を撮るのを忘れ、気が付くと枯れた残骸になっていました。まだ芽がでることを信じて水をくれています。元気に育っている写真は、かみさんが買ってきた「とうみょう」です、すでにニンニク炒めにて3回は僕の胃袋に収まっています!(^_^)!! かみさんが一言「農業生活の記事これにしたら？」……………(—_—)!!

佐藤 稔 (レッドロック・レタス)

どうもベランダでの小さいプランターではうまく成長してくれないようなので、実家の畑に植え替えてきました。今度は土も栄養豊富なので大丈夫!! などはず……。かなり元気がないので難しいでしょうか?



佐藤康則 (あまいほうれん草、赤い大根)

赤い大根が育ってきました。持ってるプランターで一番大きなものを使用していますが、大根の大きさに比べて果たしてどうか? 折角だから大きく成長して欲しいです。(・ε・`*) ほんの小さな種を2個だけ蒔いて、苗がきちんと2本生えてきてます。奇跡のようなホントの話です(*◎v◎*)



ほうれん草は、種を蒔く時期を1週間ずらしてみました。あとから蒔いたほうは、袋の説明書きの「推奨する種まき時期」を過ぎていました。それだけの違いですが、成長が遅くてこまっています(‘ε`汗)



ぱるる的農業生活!!

～楽しく育てて、おいしく食べよう!!～



今江淳子 (ニンジン、こんにやく)

こんにやくを掘りました! しかし残念なことに、この夏の猛暑で1年目の種はすっかり枯れて消えていました…実家の母に聞いた所、やはり実家のこんにやくも消えてなくなってしまったものがあつたそうです。何だかガッカリしました(T_T) でも2年目の種は大きく成長し直径5センチ位までに育っていて、とても嬉しかったです。そして脇には小さな新しい種も出来ていたので、来年はもっと大切に育てて枯らさないようにしたいと思います。ニンジン先月と大差ない気がしますが…そろそろカレーの材料に使えるかしら??



國分進一 (水菜)

ビリージョエルの『オネスティ』が似合う季節になってまいりました。街にはそろそろトレンチコートを着た人もチラホラな筈です(´-`;)ゞ

しかし、農業生活も5度目のA/Wコレクションともなるとネタに困ります。いつもは大いなる大地のパワーに完璧依存で壮大に仕上げるのですが、たまにはこじんまりと思いついて『水菜』にしました。

ある情報筋からの情報だと、飲み終わった空のペットボトルを利用して水耕栽培なんかもできるみたいなので現在その方向で調整中です♪ まあ、なにぶん作業が遅いのが國分クオリティなので、購入した500ml コーラが来月の記事締め切りまで飲みきれなかったらごめんなさい(´_`。)



小林文喜 (ミニトマト)

夏の収穫を終えた後、手入れもせずそのままにしておいたら、再度実ができました。10月になるとかなり気温が低くなり、緑色のまま、かれこれ2週間たちます。ハウス栽培にすればもしかすると赤く熟して食べられるかもしれないと思うのですが、さすがにそこまでは……。同じ並びの土は肥料をやり耕したので準備万端のはずなので、そろそろ種まきをしたいと思います。

